

第8節 8日目：2020年8月5日（水）：観光 晴れ

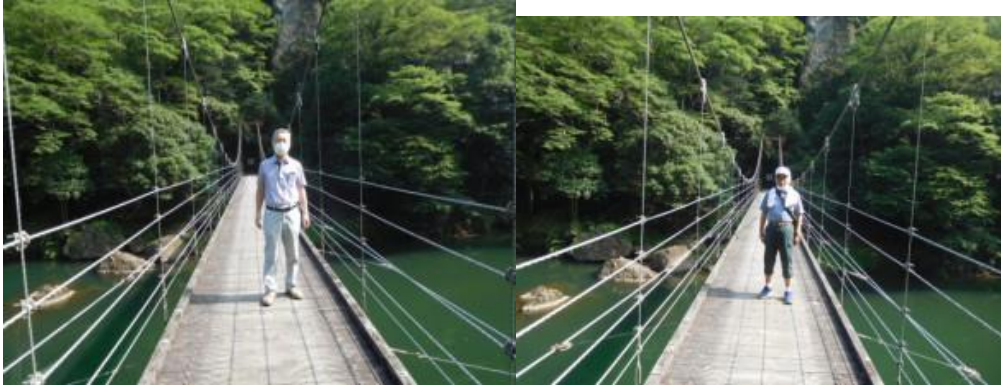
2020年8月5日（水）晴れ、山陰本線の旅の第8弾は、フコク生命時代の友人である飯塚求氏のご案内にて出雲・松江の観光地を満喫する。今回の旅の日程が決まるや否や、本日、出雲市の方面に鉄道つたい歩きで出向く旨の連絡を入れる。コロナによる悪条件にも関わらず、「歓迎します」の連絡を受け、本日の観光が実現する。感謝また感謝の至福の一日であった。

飯塚氏から本日次のような段取りで、終日にわたり心温まる手厚い歓迎を受ける。飯塚氏の心遣いに感服また感服。初の松江・出雲が恰も数回旅したような心境になりました。飯塚夫妻にこの場をお借りし、暑く厚く御礼申し上げます。

①出雲市駅待合室集合（8時45分頃）

②立久恵峡散策（9時6分頃）





③飯塚氏宅訪問（9時21分～10時26分）



④出雲大社参拝 (11時7分~12時)





⑤出雲文化伝承館に面した羽根屋で昼食（12時46分～13時42分）





⑥島根美術館から宍道湖眺望（14時44分頃）



⑦ジョイカフェーでかき氷（14時56分～15時25分）



※白鳥観光有限会社（0852-24-3218）に早く到着のため、喫茶店でかき氷！！

⑧宍道湖遊覧（15時半～16時半）



⑨のどろろ“日本海”で歓談（18時過ぎ～20時頃）



⑩解散（20 時頃）

「飯塚様！！終日にわたり大変お世話になりました。感謝の気持ちで一杯です。一気に10年前が蘇りました。山陰本線の締めなどで出雲にまた参上することがあると思います。その節は宜しくお願いします。」

第9節 まとめ

2020年7月29日（水）～8月7日（金）まの山陰本線踏破を軸とする9泊10泊の旅は、コロナや熱中症と悪環境にも関わらず、色んな意味で収穫があつた。

ひとつは、鳥取・島根が「全国鉄道つたい歩き」に加わったので、全国47都道府県で残る県は長崎県のみとなった。また、今回の歩きを通じ、早くも本年の通算営業キロは762.7km（歩き日数32日）となり、暦年単位において2001年達した最長記録である677.4km（歩き日数32日）を更新した。悪環境の中、嬉しい限りだ。

二つ目は、山陰本線の軸と思われる、鳥取～出雲市までを「歩き鉄」にて踏破をした。同時に、京都から益田までの「乗り鉄」を通じ、山陰本線の骨格が臍気に掌握できた。さらに、青森～新潟～金沢～鳥取～下関の日本海側総営業キロ（1,617.2km）のうち、今回の歩きを通じ755.9km（46.7%）を踏破することができた。

三つ目は、観光面でもフコク生命の友人のご尽力・ご厚情を得て、出雲・松江と実りある観光ができた。また、城崎温泉では名物の外湯を体験できた。偶然にも、前回の秋田・山形の旅と今回の旅を通じ、砂の器に登場した”羽後亀田駅”（羽越本線）や”亀嵩駅”（木次線）の場面に巡り合えた。

四つ目は、“日本鉄道網の素晴らしさ”を肌身で感じた。また、美しい日本どこに行っても、“住めば都”、“人類皆兄弟”などなどを強く実感する旅でもあった。

最後は、囲碁や将棋の対戦記録があるように、また、カッシー館の「こだわり鉄道つたい歩き」にあるように、“記録の大切さ”を一層強く実感。系統的な記録はある意味では“日本の財産”と強く認識。加えて、記録なしでは第三者への発信は難しいと。

カッシー館にご来館頂いている方に、鉄道沿線での出来事に対し、臨場感を味わって頂くために、カッシー館への投稿には、これからも一層の創意工夫と鋭意努力で臨みたいと考えています。引き続きご愛好宜しくお願い申し上げます。